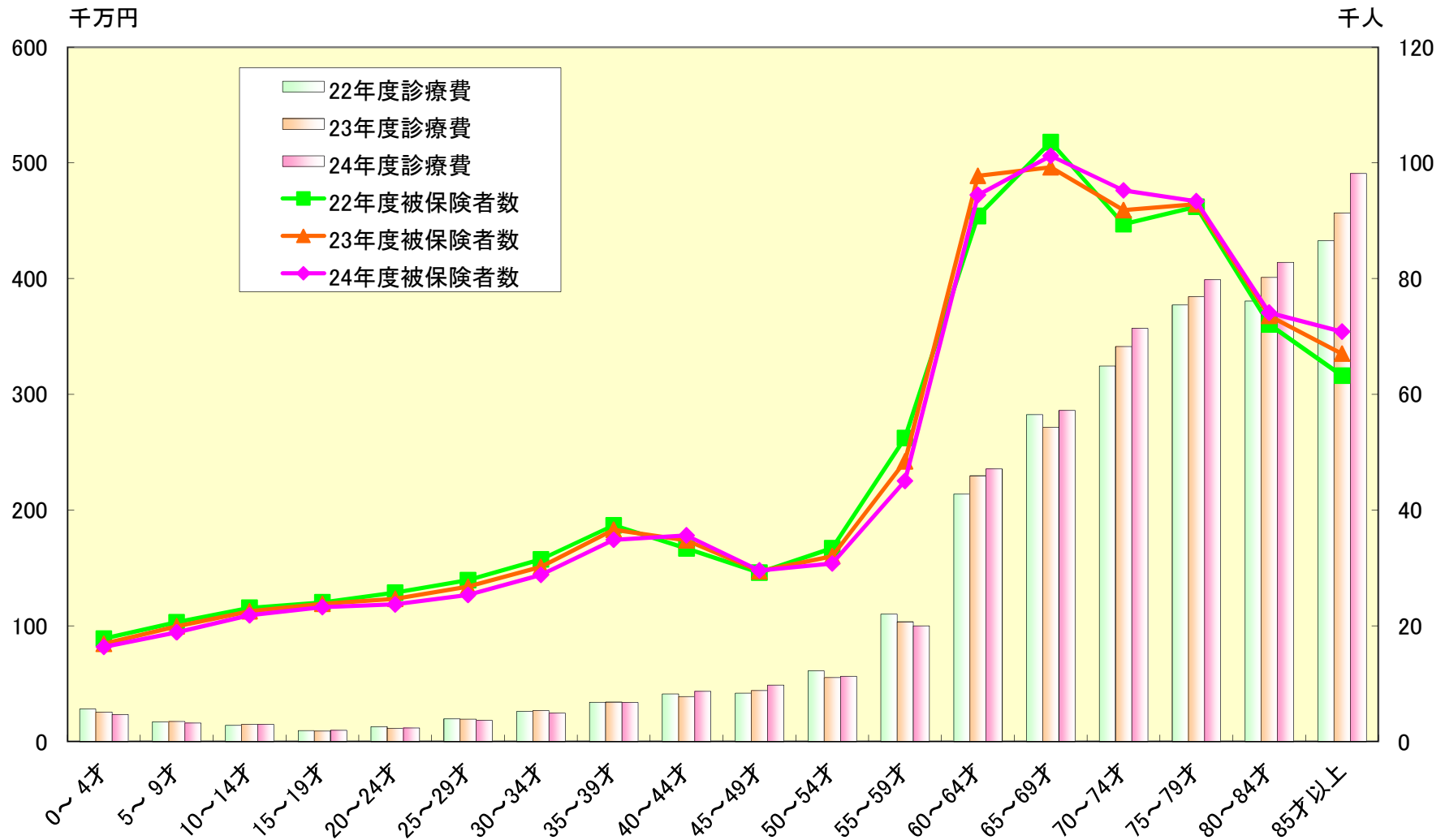


13 年齢階層別被保険者数と診療費の状況

平成24年度は、65～69才の被保険者数、85才以上の診療費が最も高い数値となっています。

平成24年5月診療分(国保+後期)

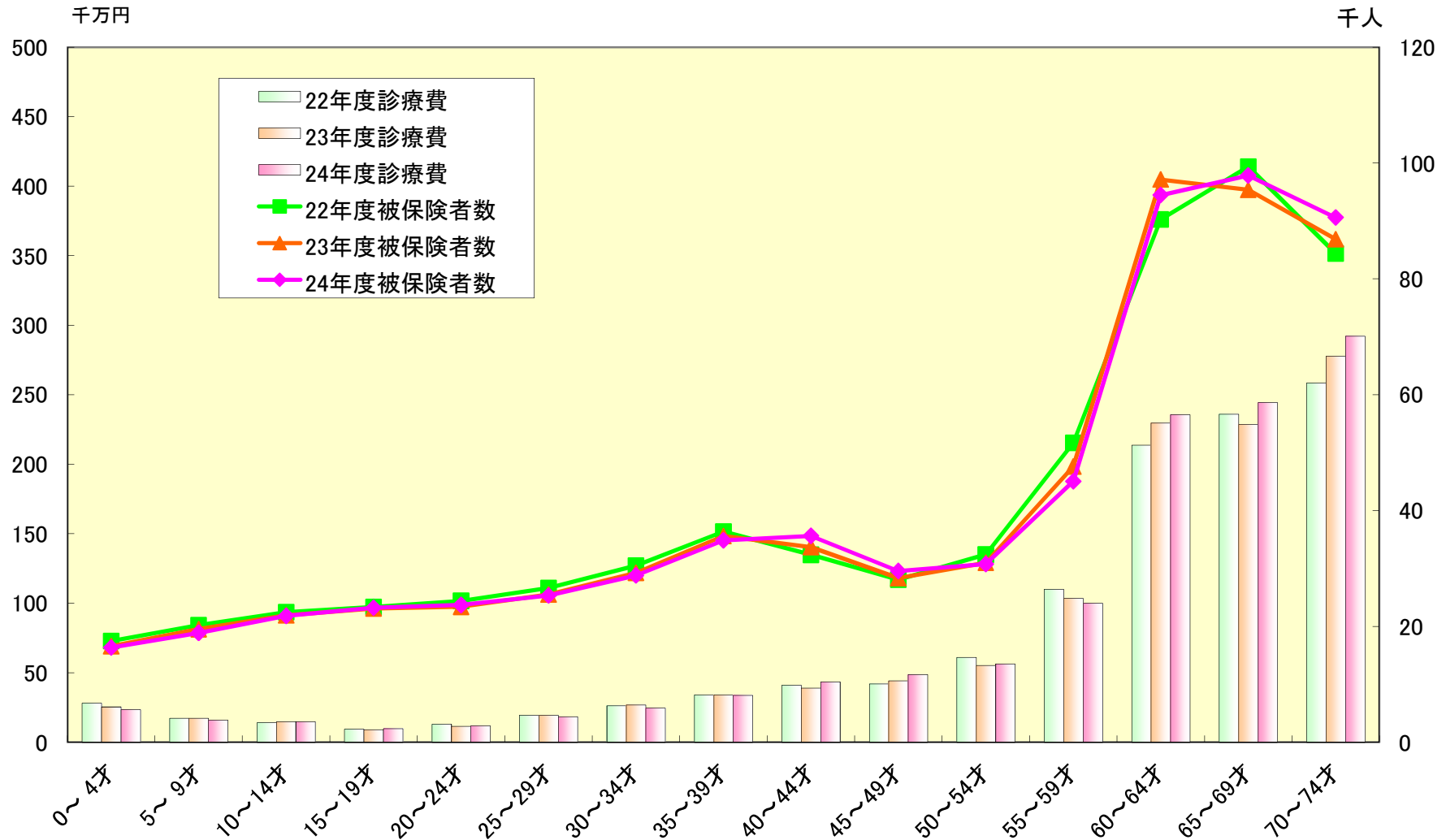


疾病分類統計表から

13 年齢階層別被保険者数と診療費の状況

平成24年度は、65～69才の被保険者数、70才～74才の診療費が最も高い数値となっています。

平成24年5月診療分(国保)

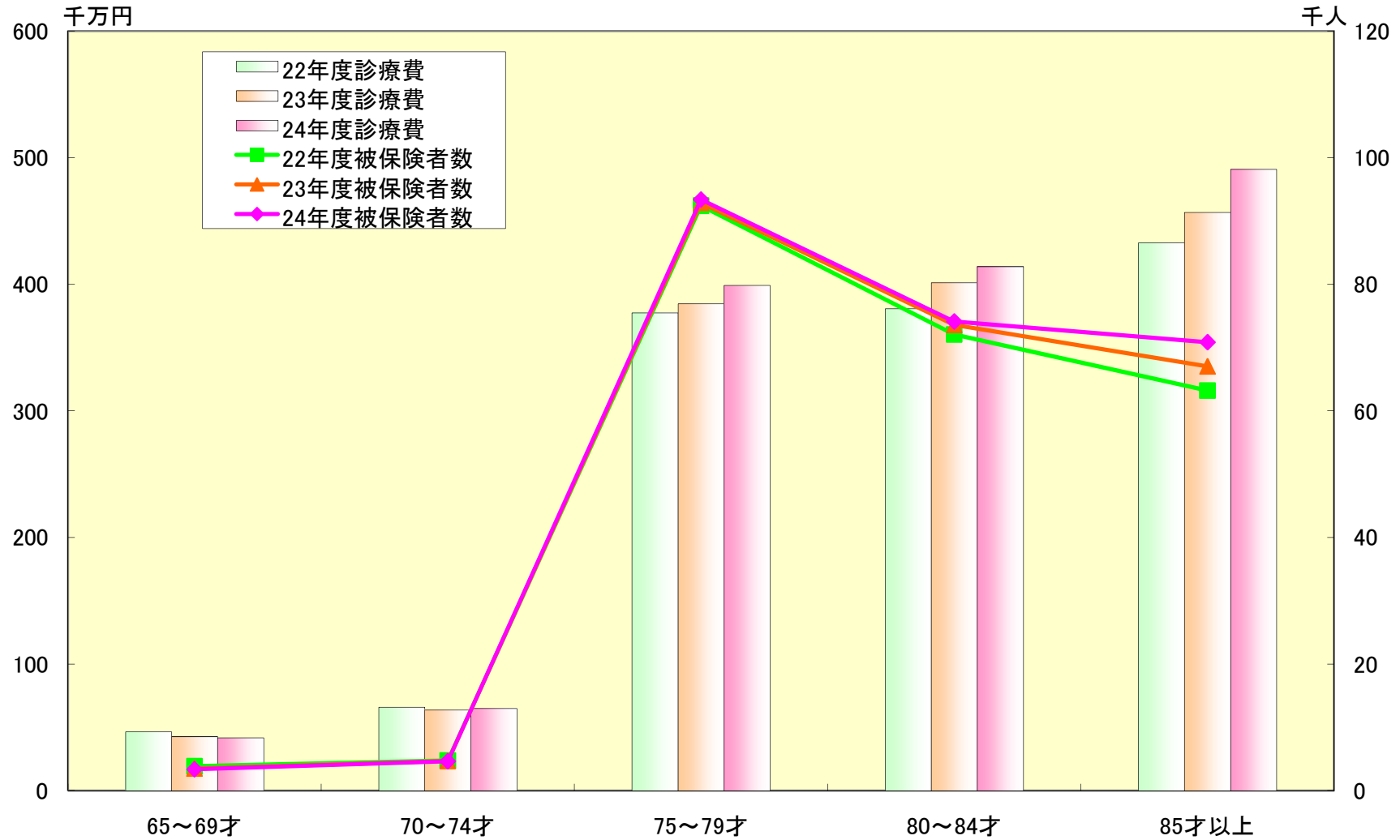


疾病分類統計表から

13 年齢階層別被保険者数と診療費の状況

平成24年度は、75～79才の被保険者数、85才以上の診療費が最も高い数値となっています。

平成24年5月診療分(後期)

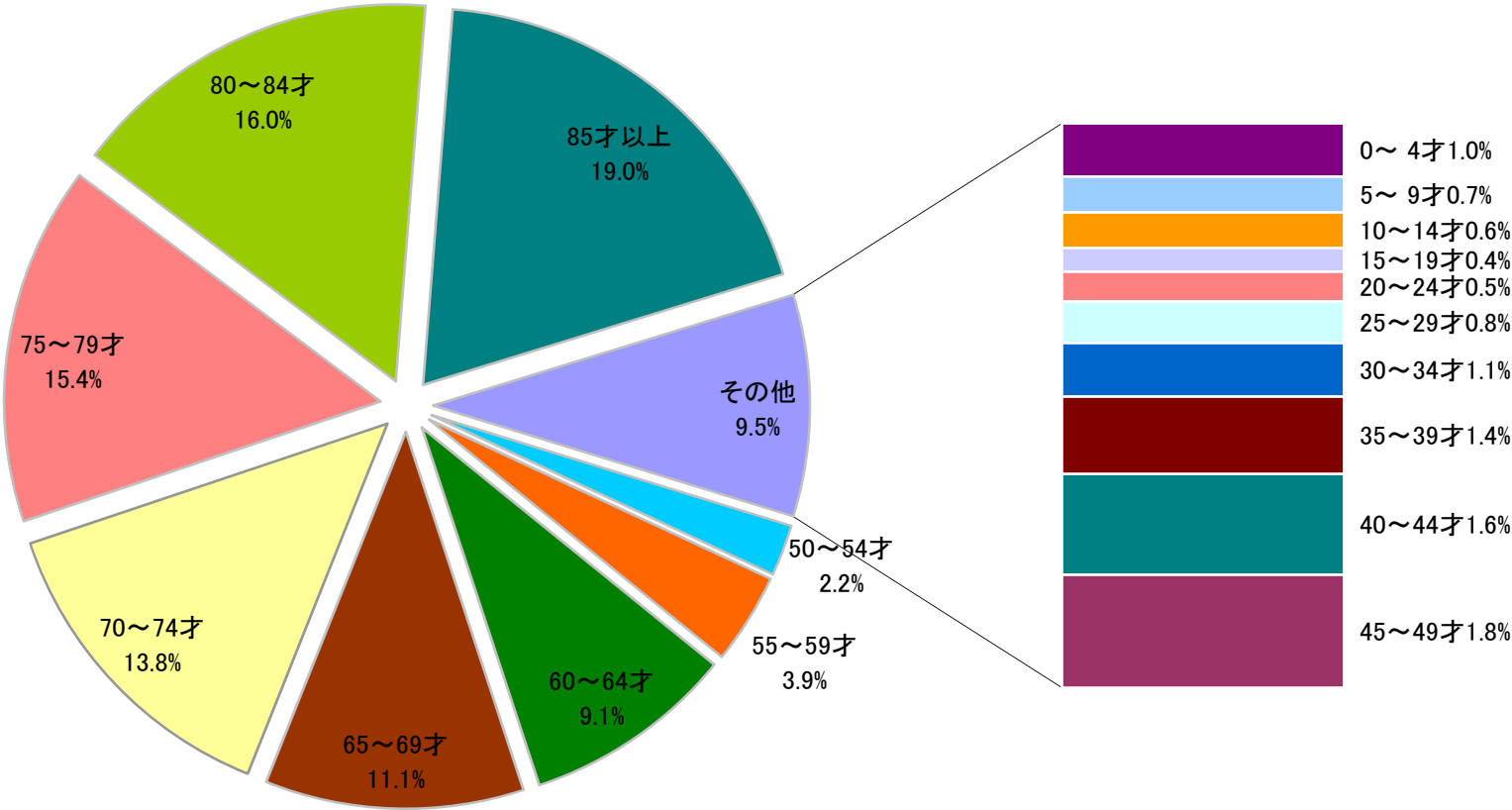


疾病分類統計表から

14 年齢階層別診療費の割合

70才以上の診療費が、全体の64.2%を占めており、前年の63.7%と比べて0.5ポイント上昇しています。

平成24年度診療費(国保+後期)

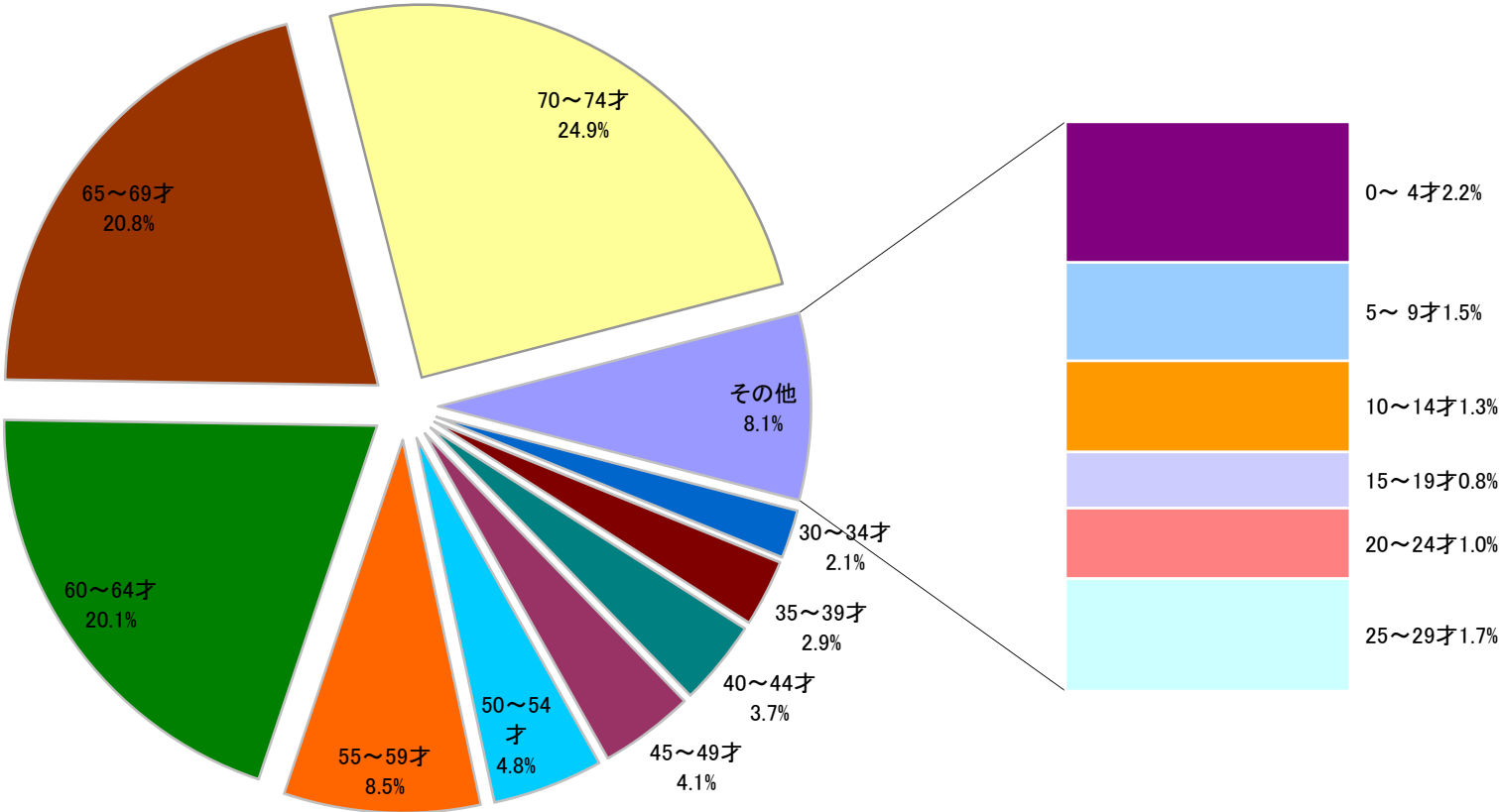


疾病分類統計表から

14 年齢階層別診療費の割合

70才以上の診療費が、全体の24.9%を占めており、前年の24.3%と比べて0.6ポイント上昇しています。

平成24年度診療費(国保)

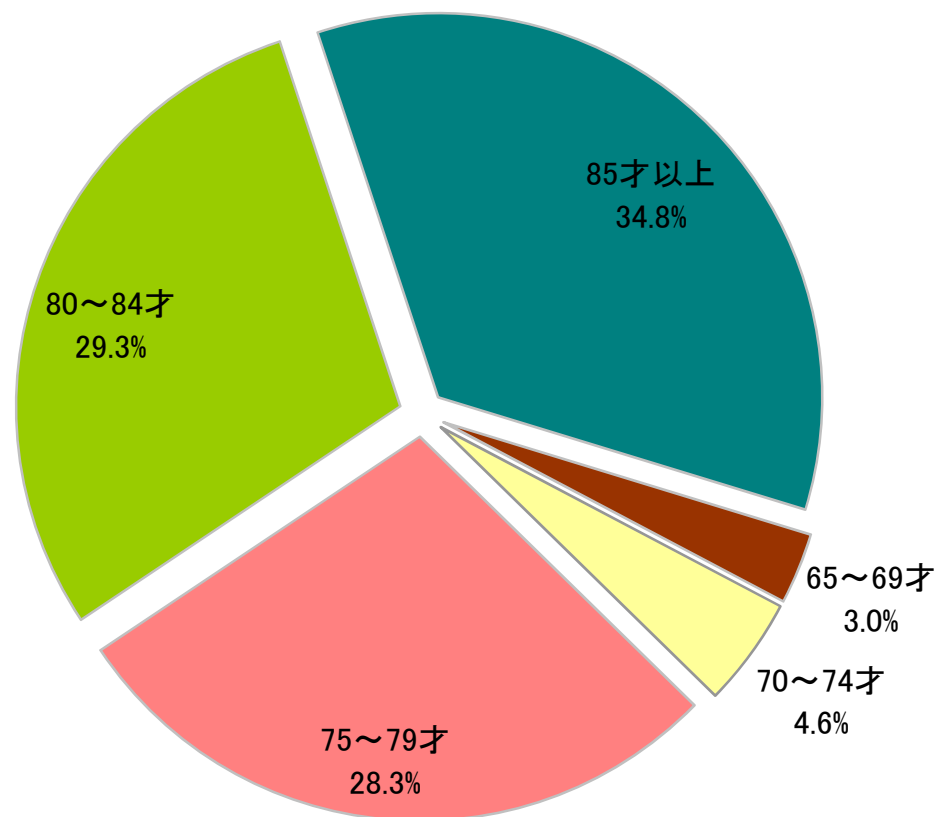


疾病分類統計表から

14 年齢階層別診療費の割合

85才以上の診療費が、全体の34.8%を占めており、前年の33.9%と比べて0.9ポイント上昇しています。

平成24年度診療費(後期)



疾病分類統計表から

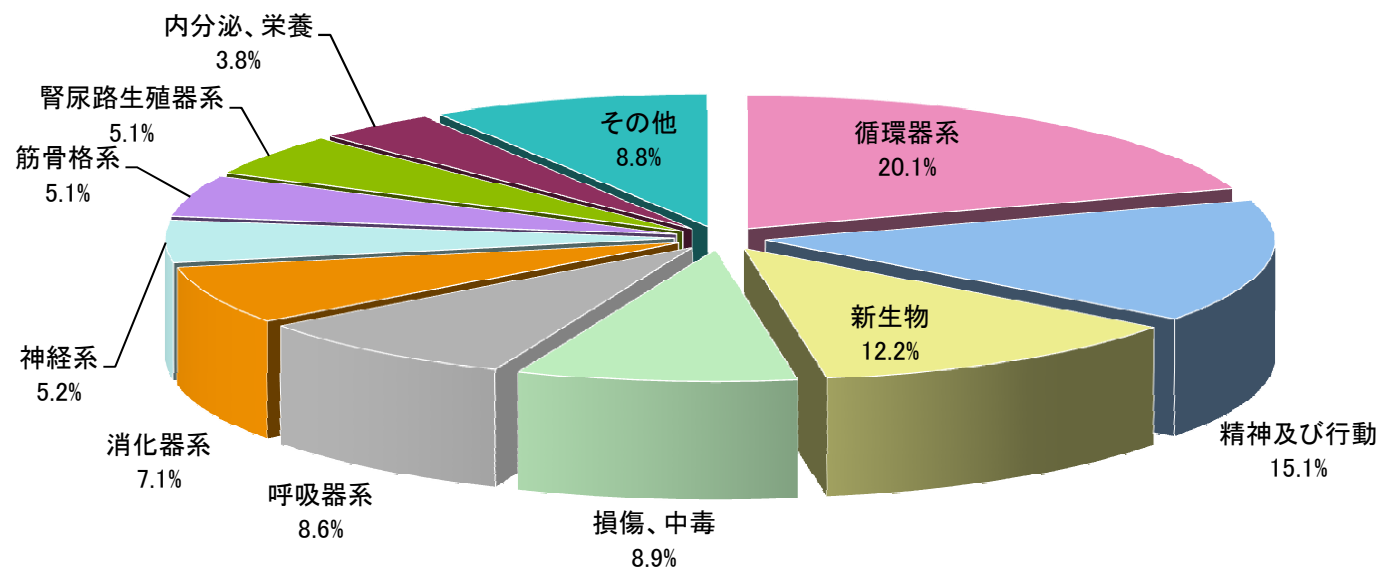
15 疾病大分類別上位10傑(入院・件数)

件数の構成割合をみると、循環器系の疾患20.1%（対前年0.4ポイント減）、精神及び行動の障害15.1%（対前年0.4ポイント減）及び新生物12.2%（対前年0.2ポイント減）が上位を占めています。

平成24年5月診療分（国保＋後期）

※国保には、国保組合も含む。

【構成割合】



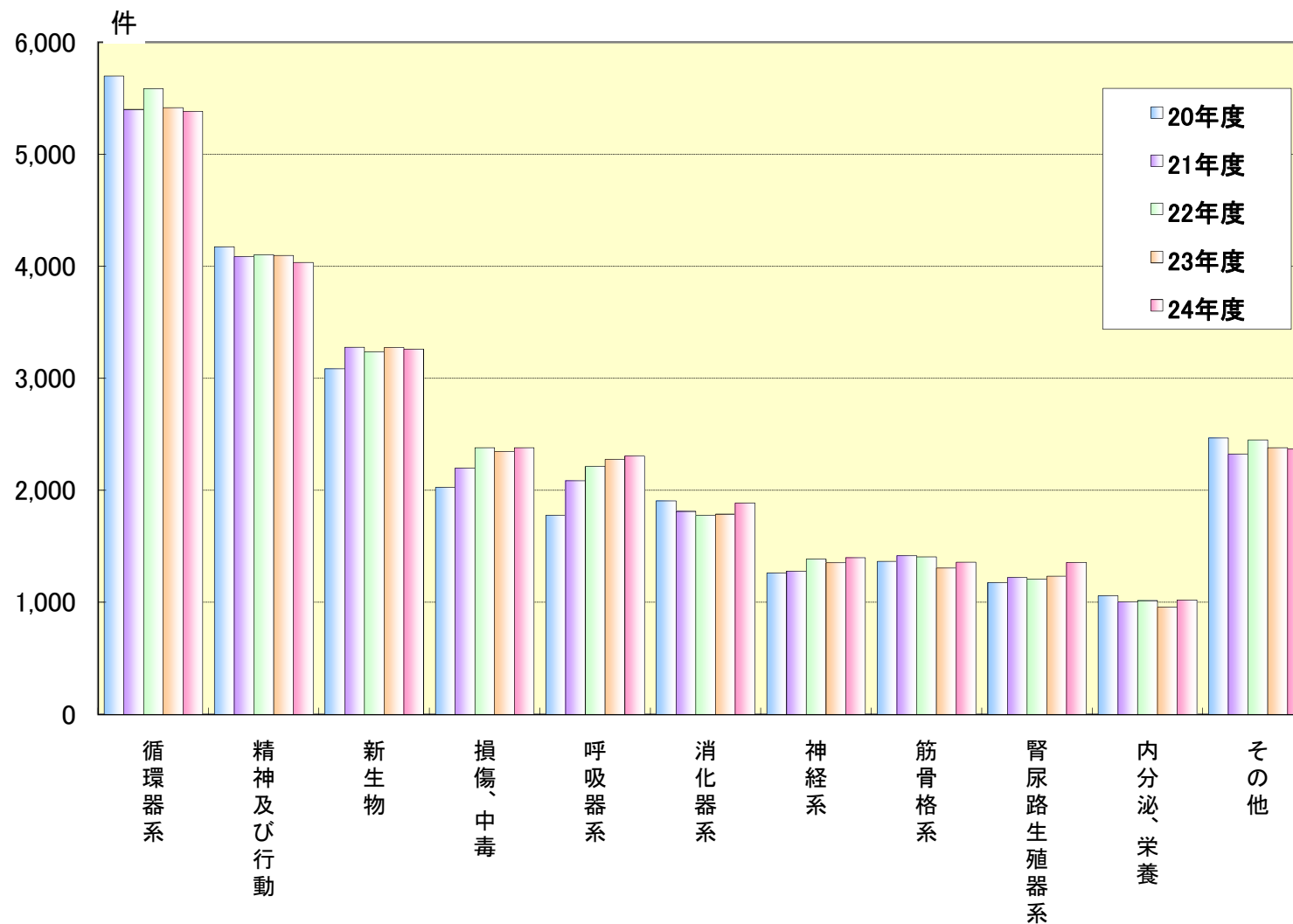
大分類	件数	大分類	件数
循環器系の疾患	5,384	神経系の疾患	1,400
精神及び行動の障害	4,036	筋骨格系及び結合組織の疾患	1,359
新生物	3,260	腎尿路生殖器系の疾患	1,358
損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,381	内分泌、栄養及び代謝疾患	1,022
呼吸器系の疾患	2,307	その他	2,368
消化器系の疾患	1,887	計	26,762

15 疾病大分類別上位10傑(入院・件数)

平成24年5月診療分(国保+後期)

※国保には、国保組合も含む。

【推移】



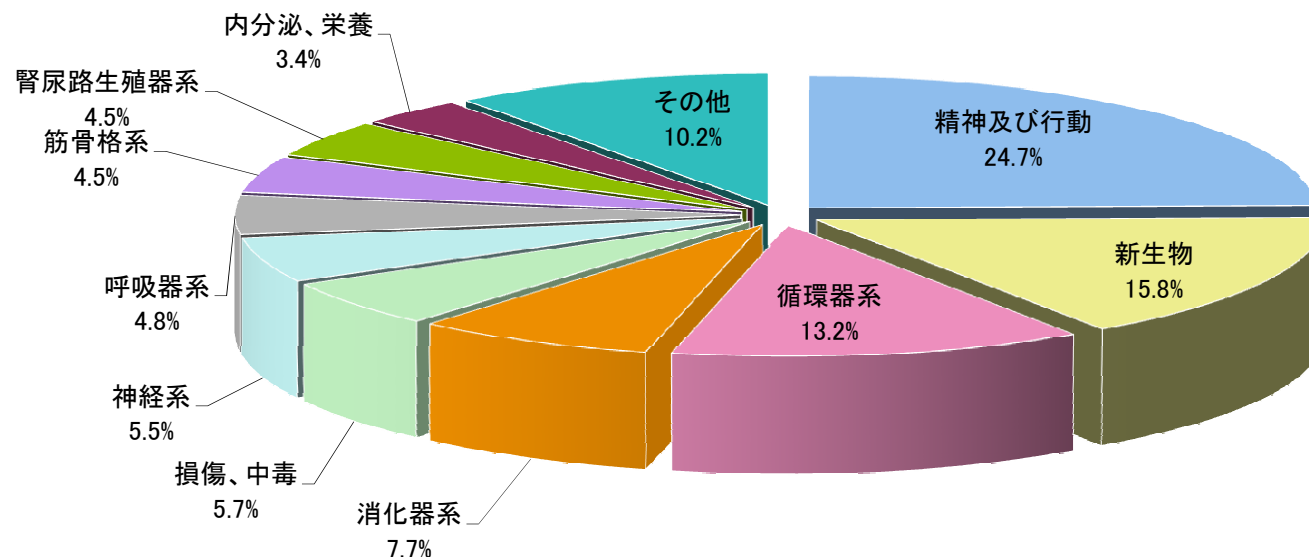
15 疾病大分類別上位10傑(入院・件数)

件数の構成割合をみると、精神及び行動の障害24.7%（対前年0.5ポイント減）、新生物15.8%（対前年0.3ポイント減）及び循環器系の疾患13.2%（対前年0.1ポイント減）が上位を占めています。

平成24年5月診療分（国保）

※国保組合も含む。

【構成割合】



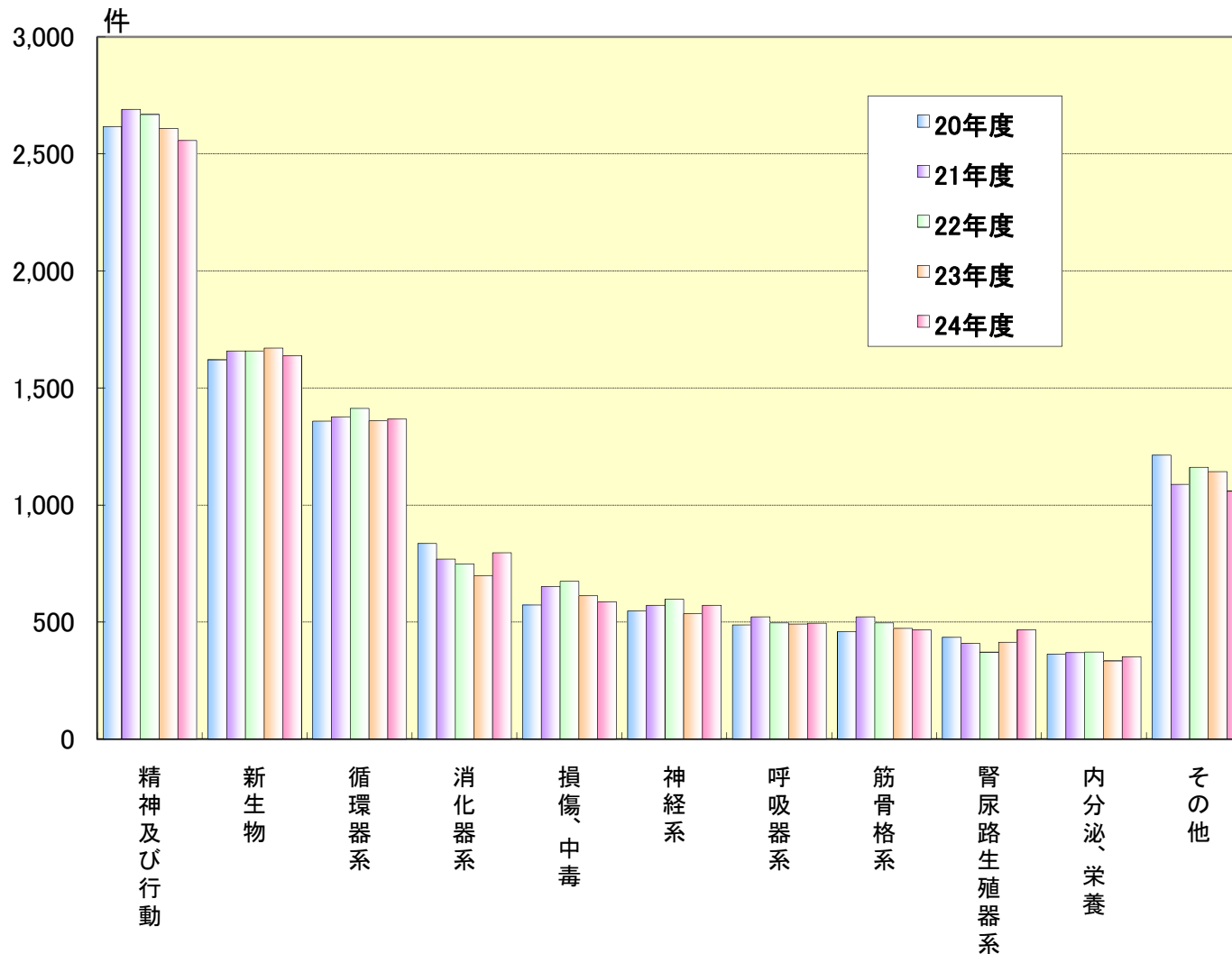
大分類	件数	大分類	件数
精神及び行動の障害	2,557	呼吸器系の疾患	496
新生物	1,639	筋骨格系及び結合組織の疾患	468
循環器系の疾患	1,368	腎尿路生殖器系の疾患	468
消化器系の疾患	797	内分泌、栄養及び代謝疾患	353
損傷、中毒及びその他の外因の影響	587	その他	1,060
神経系の疾患	572	計	10,365

15 疾病大分類別上位10傑(入院・件数)

平成24年5月診療分(国保)

※国保組合も含む。

【推移】

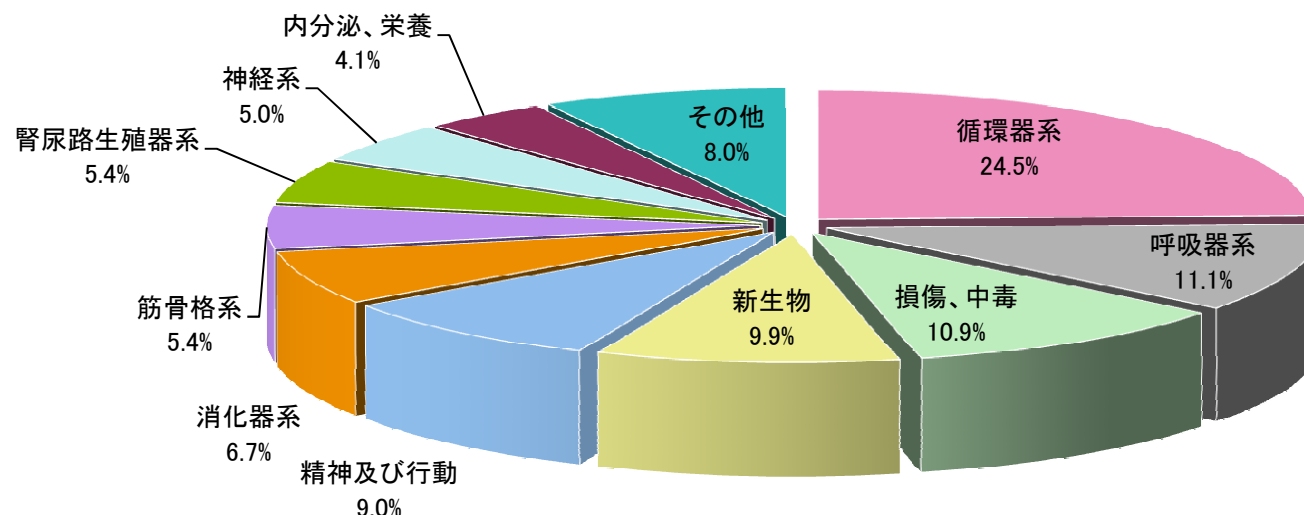


15 疾病大分類別上位10傑(入院・件数)

件数の構成割合をみると、循環器系の疾患24.5%（対前年0.7ポイント減）、呼吸器系の疾患11.1%（対前年増減なし）及び損傷、中毒及びその他の外因の影響10.9%（対前年0.1ポイント増）が上位を占めています。

平成24年5月診療分（後期）

【構成割合】



大分類	件数	大分類	件数
循環器系の疾患	4,016	筋骨格系及び結合組織の疾患	891
呼吸器系の疾患	1,811	腎尿路生殖器系の疾患	890
損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,794	神経系の疾患	828
新生物	1,621	内分泌、栄養及び代謝疾患	669
精神及び行動の障害	1,479	その他	1,308
消化器系の疾患	1,090	計	16,397

15 疾病大分類別上位10傑(入院・件数)

平成24年5月診療分(後期)

【推移】

